



国際ロータリー 第2780地区 第9グループ  
湯河原ロータリークラブ 週報

2024年6月21日(金) 第2968回例会 形式:対面 天候:雨  
合唱:それこそロータリー



世界に希望を生み出そう

会長 佐藤 友彦 幹事 櫻井 武志

事務所:神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会

TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716 例会場:ニューウェルシティ湯河原 例会日:毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

佐藤 友彦

皆様、こんにちは。本日も例会にご出席賜り、誠にありがとうございます。また、先週の親睦旅行にご参加頂きました皆様に於かれましてはご協力ありがとうございました。参加できなかった

皆様は是非、来年ご参加いただけますようお願い致します。

さて、ロータリーは奉仕と親睦とよく言われますが、それについて少しお話ししたいと思います。私たち湯河原クラブは兼ねてより親睦を大切にクラブの運営を行っていますが、今一度、親睦について良く考える必要があると思っています。親睦というと飲食をともにする場にて親交を深めていく事も多いかと思えます。これは手段的に決して悪いものではなく良い効果を得る事も多いかと思えます。しかしながら本来あるべき姿はロータリーの理念をしっかりと共有した上で奉仕活動を通じて会員相互の信頼関係を深めていく。このプロセスが希薄になっているとも感じております。また、クラブ会員以外にも他クラブの会員や関係諸団体の方々との親交を増やし親睦を深める事もロータリークラブに属する大きな魅力のひとつと思っていますので積極的に他クラブの会員の方々とお会いする場に積極的に参加すると共に新たな会員を増やす取り組みを進める事をお伝えしてご挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございました。

幹事報告

1. 2024-2025 年度 地区ロータリー財団セミナー及び補助金管理セミナーのご案内

日時:7月13日(土)受付開始 12:30

R 財団セミナー 13:00 ~ 15:10

補助金管理セミナー 15:30 ~ 16:30

場所:アイクロス湘南 6 階「会議室」

対象者:次年度クラブ会長、次年度クラブ R 財団委員長、次

年度奉仕プロジェクト委員長のうち 2 名以内

回答期限:7月5日(金)

連絡事項 なし

スマイルボックス

ご夫人誕生日 青木義美君(優子様・6/20)

高杉尚男君・渡辺久恭君

6月18日、さがみ信金湯河原信和会の令和6年度総会を無事に執り行うことができました。

青木義美君・伊藤伸之君

私が OB 会長をやっている沼津東高校ボート部の女子チームが10年ぶりに静岡県代表で長崎インターハイ出場が決まりました。伊藤さんのお父さんは大先輩です。

安江仁孝君

家族親睦会欠席いたしました。本来、大遅刻の予定でしたが、先の用で体調を崩してしまいました。無理はよくないと肝に銘じた次第です。

平間章弘君・伊藤伸之君・内藤良浩君・石川博君・深澤昌光君 家族親睦旅行を欠席しました。

室伏学君

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会の全国大会で札幌に行っていました。

出席報告

ゲスト 0名 ビジター 0名

会員 22名 欠席8名(免除者0名)

出席率 63.64%

前回の修正出席率 71.43%

前々回の修正出席率 68.18%

事前メイクアップ 0名

皆様こんにちは、今回は「RI 方針からみた、湯河原RCが迎えるべき近未来(私論)」と題しまして、卓話を担当させていただきます。

## 1. 国際ロータリー (RI) の基本構造

長年クラブに在籍されている会員の皆様には既知の内容ですが、まずRIの基本構造(3本柱)について説明いたします。RIでは「クラブ・RI・ロータリー財団」を活動の3本柱に据えており、「これらが一体となって、世界中の地域社会に持続的な変化を生み出す(RIウェブサイトより)」ことを目指しています。実際にはRIとクラブの間には「ゾーン」「地区」「グループ」という3つの階層があり、RIの理念がクラブに適切に浸透するように、クラブの意見や情報がRIに適切に到達するように構成されています。湯河原ロータリークラブは「ゾーン2(世界全体で34のゾーンに区分)」内「第2780地区(世界全体で約530の地区に区分)」内「第9グループ(地区内は全10グループ、第9グループは小田原市・南足柄市・足柄上郡・足柄下郡所在7クラブ)」に位置しています。話を3本柱に戻しますと、クラブ・RI・財団は相補的な関係、まさに「ロータリー」な循環を構成しており、その枠組みを維持するための努力はすべての立場の会員が求められているといえるでしょう。

## 2. RIの方針とクラブに求められる姿勢

さて、RIは1905年に米国で創設された団体ですが、その方針は変化を続けています。主立った変更は数年おきに開催される「規定審議会」でなされますが、この中には「四つのテストの明記(2004年)」「奉仕部門に『青少年奉仕』の追加(2010年)」などもあり、創設以来の旗印であるかのような重点目標や奉仕部門も、歴史を紐解くと古今が入り交じっていることがわかります。湯河原ロータリークラブの創設は1962年ですが、大雑把に20回前後の規定審議会による変更の歴史を経ていることになります。当然ながらRIは現在の方針を推奨していますから、クラブは単にRIの方針を延々と復唱するだけでなく、RIの「変化していく」方針に常に注目し、追従する姿勢をとる必要があります。今回は創設以来変化してきた数多くの項目の中で、象徴的なものをいくつか取り上げてみます。

## ・女性会員の活躍

1972年、ロータリークラブへの女性の入会が提案されたことを端緒に女性の入会を認める機運が高まり、1989年規定審議会にて「全世界のロータリークラブで女性会員の入会」が認められました。2000-01年のRI会長・F.J.デブリン氏は「1905年と1989年はまるで別世界である」と発言したように、以降の女性会員の加入や活躍の動きが留まることはなく、2022年には初の女性RI会長(ジェニファー・E・ジョーンズ氏)の誕生に至りました。入会提案から50年で、RIは「男性の社交場」から「(性別を問わない)社交場」へと変貌を遂げました。今後も主にはDEI(多様性、公平性、インクルージョン)に配慮した指向の流れは続き、個々人の考えや価値観は尊重されつつも、この流れを妨げるようなクラブとしての振る舞いは許容されないと考えられます。

## ・RC=RA=IA

ロータリークラブの傘下には参加年齢18歳以上を原則とする「ローターアクトクラブ(RA、RACとも)」、12歳以上18歳未満の、主に中等部の生徒の参加を目的とした「インターアクトクラブ(IA)」がありますが、2019年規定審議会において「RC」「RA」「IA」の会員は同格となることが決まりました。RIはもはや妙齢の会員のものだけではなくなったといえます。他にも職業分類の緩和(2001年)や事実上の廃止(2019年)など、RI創設時、湯河原RC創設時を基準としても大幅に変更された方針が多々存在するのが現実です。

## 3. (まとめ)湯河原RCが迎えるべき近未来(私論)

以上から、湯河原RCに限らず、すべてのクラブはRIの現行方針に準拠することが求められ、RI方針とクラブの伝統が衝突した場合、それを長く維持することは難しいと考えざるを得ません。しかし各クラブで培われている伝統や慣例はクラブの個性、財産であり、RIの方針に直接差し支えるものばかりでもないことも確かです。私達が迎えるべき近未来は、RIの方針に準拠しつつ、湯河原RCとして残すべき伝統を、RIと共存できる限りにおいて維持している姿ではないでしょうか。もちろんそのためには、伝統が効果を持っていると客観的に示すようなデータ(端的には会員数の維持)を用意し続けることも大切であろうと思います。

本日はありがとうございました。